



# 連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市長久区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれあろ 3F  
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <http://www.rengo-aichi.or.jp>

## すべての労働者の安全と心身の健康確保 あらゆるハラスメントの無い職場環境づくりをめざし ～安全衛生センター第33回総会を開催～

11月19日（金）ワークライフプラザれあろにて、第33回総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から来場人数を縮小し、センター役員は現地参加、構成組織からの代議員はWEB参加する形式で開催しました。冒頭、近藤理事長からの挨拶の後、来賓にお迎えした、連合愛知 可知会長、愛知労働局 濱田課長よりご挨拶をいただきました。続いて、2021年度の活動報告、決算報告の後、2022年度活動計画（案）、予算（案）、役員（案）を審議し、満場一致で可決・決定されました。



会場とWEB画面にむけ、挨拶する近藤理事長



＜ご来賓＞  
連合愛知 可知会長



＜ご来賓＞  
愛知労働局 濱田課長



＜議長＞  
電機連合 鈴木竜彦代議員

### ＜近藤理事長挨拶＞（抜粋）

これまで各構成組織をはじめ、関係する機関・行政などとの連携を図りながら、労災の未然防止や健康づくりに資する活動を展開するとともに、各加盟組合の労働保険に関わるサービス活動として、組合専従役員などの雇用保険・労災保険を扱う事業を行ってまいりました。これらの活動は、全国の地方連合会からも注目されており、今後もそれぞれの取り組みを強化し、更なる活動の充実を図って行くことが求められています。

### ＜2022年度活動計画＞

1. 労災の未然防止と健康づくり活動の推進
  - (1) 労災防止活動の強化
  - (2) 愛知労働局安全衛生労使専門家会議への参画
  - (3) 健康づくりの取り組み
2. 安全衛生活動のレベルアップ
  - (1) 理事研修会の充実
  - (2) 安全衛生担当者研修会の充実
3. 活動に役立つ情報提供と啓発活動
  - (1) 構成組織・加盟組合に対する支援
  - (2) ホームページの充実・周知
  - (3) 安全衛生センターだよりの発行
  - (4) 安全衛生DVDの無料貸し出し
  - (5) 労災保険の適用に関する情報提供
4. 労働保険の加入促進と事務サービスの充実
  - (1) 未加入の専従役職員の保険加入促進
  - (2) 一人専従委員長の労災保険組合への加入促進
  - (3) 中小企業事業主と労働者の保険加入支援
  - (4) 事務組合のサービス体制充実
5. 県民に開かれた活動と関係団体との連携
  - (1) 労働問題（労災・労災保険）の相談窓口
  - (2) 県民参加の健康づくり啓発
  - (3) 連合本部の安全衛生活動との連携
  - (4) 東海ブロック地方連合会との連携
  - (5) 行政、関係団体との連携強化

### ◆総会開催に合わせ講演会を開催しました。



「過労死・過労自殺を防ぐために  
～担当4事件を通じて～」  
(講師) 旬報法律事務所 弁護士  
蟹江 鬼太郎 様

◆担当された4事件を元に長時間労働の  
もたらす影響、労働組合として取り組むべき  
こと等をご講演いただきました。

毎月発行している『安全衛生センターだより』は  
連合愛知安全衛生センター HPにも掲載しています。  
<https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/dayori/>  
過去の『だより』も掲載していますので  
職場での研修会等に、是非ご活用ください  
安全衛生センターだより



## 2021年11月度 愛知県の死亡災害発生状況 <12月9日現在速報値>

22人 (5人) 対前年同期39人 (4人) ※ ( ) 内は交通事故による死亡者の内数

業種・規模	被災者	事故の型	災害状況
11月	11月の死亡災害は12月9日現在、発生しておりません。 12月10日、小牧市内国道41号線で車両24台が絡む、大型トレーラーによる追突事故が発生しました。死亡者は発生しておらず、不幸中の幸い、これだけの事故にもかかわらず軽傷者のみでした。事故の発端となったドライバーの会社は、安全の取り組みがしっかりされており、過去に安全性優良事業所に認定されています。年末の慌ただしい中、ゆとりを持って行動しましょう。ご安全に！！		

# 私たちの職場における取り組み事例

## 第10回

古久根 理事 (JP労組)

### ■私たちの安全衛生の取り組み

私たち郵便物流の職場における安全衛生の取り組みについて紹介いたします。私たちは毎日バイクや自動車を使い、郵便局から郵便局へ、郵便局からお客さまのお宅へ郵便物やゆうパックを届けています。業務上、物流関係の仕事で働く労働者として当たり前の事ですが、バイク、自動車の乗車前にはエンジンオイルや、空気圧等の日常点検を乗務担当者が行うことで、交通事故防止に取り組んでいます。

またバイクや自動車の鍵の授受の際、毎日アルコールチェックを行っています。

私たちは日々お客さまや不特定多数の職場の方々と接する仕事をしています。不特定多数の人や物との接触が頻繁に起こることから、社会全体で新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され始めた昨年より、会社の安全衛生についての年間方針を受けて、各職場の安全衛生委員会で職場ごとに社員の安全衛生環境の改善と向上に、取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症防止の対策、各職場での日々の取り組みとして、具体的には、国の要請事項である三密回避の徹底、換気の徹底、手洗いの徹底、事務室の入退室時のアルコール消毒の徹底、マスク着用の徹底などを行い、お客様に対しては、窓口でお客様が密にならないように誘導する、待合での椅子の間引きをするなどして、感染防止対策を行なっています。今後も、毎日の点検や新型コロナウイルス感染防止対策を続けていくことで、安心・安全な業務遂行ができるように労使が一丸となって努めていきます。



古久根 理事

## 年末年始の災害防止を徹底しよう!

年末年始は慌ただしく、生活のリズムも変わりやすい時期です。安全で健康に一年を締めくくり、新たな年をスタートできるよう安全衛生活動のポイントを紹介します。

### 非定常作業時の災害を防ぐ!

大掃除などで一斉に設備を停止した上で点検や修理を行う「非定常作業」では、「はさまれ・巻き込まれ」などの災害に特に注意が必要です。

#### 事前準備

作業計画書の作成、作業の手順・方法の決定などを協力会社や安全衛生担当部門関係者が事前に行った上で、リスクアセスメントも実施して調整しましょう。

#### 作業開始前ミーティング

作業の進め方、合図の方法、禁止事項などを確認し、リスク情報を共有しましょう。新型コロナウイルス等への感染防止対策や必要な保護具の着用の確認も忘れず。



- 1 起動スイッチ等に施錠。複数人で作業する際は各作業者が自分のキーを持つ(ロックアウト)。
- 2 狭い場所は補助照明などで適正な照度を保つ。
- 3 動力を遮断し(電源を切り)、機械設備を完全に停止させ、操作盤等の近くに「点検中のため操作禁止」などの表示をする。
- 4 チェックリストなどを使って漏れなく点検。指差し呼称で手順や安全の状態を確認する。

作業中に不測の事態が生じたら、作業を中断して作業指揮者に報告  
合図は大きな声でハッキリと決められた方法で

・無効にした安全装置、取り外した安全カバーなどをもとに戻して、作業場を管理・監視。  
・ヒヤリ・ハット情報などがあれば、作業指揮者に報告。

### 脚立作業のポイント



- 1 天板の上に乗らない。脚立にまたがらない。保護帽や保護手袋を着用する。
- 2 踏板上で作業する際は、足を軽く踏き、脚や膝を軽く天板に当てて体制を安定させる。つま先立ちも危険!
- 3 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。
- 4 脚立は原則として2m未満のものを使う。
- 5 脚立に滑り止めの付いた脚立を使用し、開き止めの金具を確実にロックする。

### 感染症予防対策の徹底

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのチェックリストなどを活用し、3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を避けながら、効率的に作業を進めることが大切だ。



### 物の置き方・持ち方・運び方に注意!

年末年始の作業中は、動かす物も増えます。転倒、激突などの災害につながる不安全な行動をとっていないか、通路の安全が確保されているかなどを確認しましょう。



#### チェックしてみよう! 例えば...

- 通路や出入り口、階段などに物を放置していないか
- 床、通路などの水、油、粉塵がその程度に溜まっているか
- 安全に移動できるように十分な明るさ(照明)が確保されているか
- 包車などは、荷が落ちたりしないよう安全に使用しているか
- 階段の滑り止めは外れていないか
- 危険のある箇所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー(標識)を掲示しているか
- 作業靴の底がすり減って滑りやすい状態になっていないか
- 転倒などを予防するための教育を行っているか

### 冬季の安全運転

交通事故は年の後半に多くなる傾向にあり、特に12月に多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけるとともに、毎日のミーティングなどでも繰り返し注意喚起しましょう。

#### ■出発前の準備

・目的地方面の交通情報や降雪など気象情報を収集。  
・タイヤの摩耗状態、燃料の補給、タイヤチェーンの使い方などを事前に確認。冬タイヤでも走行距離になることがあるため、タイヤチェーンは必ず実行する。

#### ■「急」のつく運転を避ける

・急ハンドル、急ブレーキ、急発進などは、スピンやスリップの原因になる。時間と心に余裕を持って!

#### ■凍結しやすい場所に注意

・橋の上、日の当たらない道路、交差点やカーブの手前などは凍結しやすいので、あらかじめスピードを落とすよう運転する。



明るい新年

みんなを迎える

無災害

